

令和 6 年能登半島地震に関するアンケート調査結果の公表

～地震の揺れ、緊急地震速報及び津波警報等の利活用～

令和 6 年 1 月 1 日に発生した石川県能登地方の地震（最大震度 7）について、当時の揺れの状況、緊急地震速報及び津波警報等の入手・活用状況に関するアンケート調査を実施し、結果をとりまとめました。

気象庁では、大きな揺れや被害を伴う地震が発生した際に、「気象庁震度階級関連解説表」（※）の点検や、適切な防災行動及び各種情報の普及啓発の推進等への活用のため、当時の揺れの状況、緊急地震速報及び津波警報等の入手・活用状況に関するアンケート調査を実施しています。

（※）ある震度が観測された場合、その周辺でどのような現象や被害が発生するかを目安を示したもの

今般、令和 6 年 1 月 1 日の石川県能登地方の地震（最大震度 7）に係るアンケート調査を実施しました。調査結果の概要は以下のとおりです。詳細な調査結果は別紙ならびに別添 1 及び別添 2 をご覧ください。

- 各地の震度と、揺れの感じ方及び被害状況との対応状況を確認した結果、「気象庁震度階級関連解説表」の記載内容と概ね整合的であった。
- 緊急地震速報及び津波警報等を見聞きした時、多くの方が揺れから身を守る、津波からの避難を意識する等、適切な行動を取られていた。

気象庁は、今回の調査結果を踏まえ、引き続き、地震津波情報の適時的確な発表を行うとともに、地震や津波の特性等を踏まえた安全知識の普及啓発に努めてまいります。

問合せ先：揺れに関するアンケート調査結果に関すること

地震火山部 地震津波監視課 百合本、西田

電話 03-6758-3900（内線 5135、5136）

緊急地震速報及び津波警報等のアンケート調査に関すること

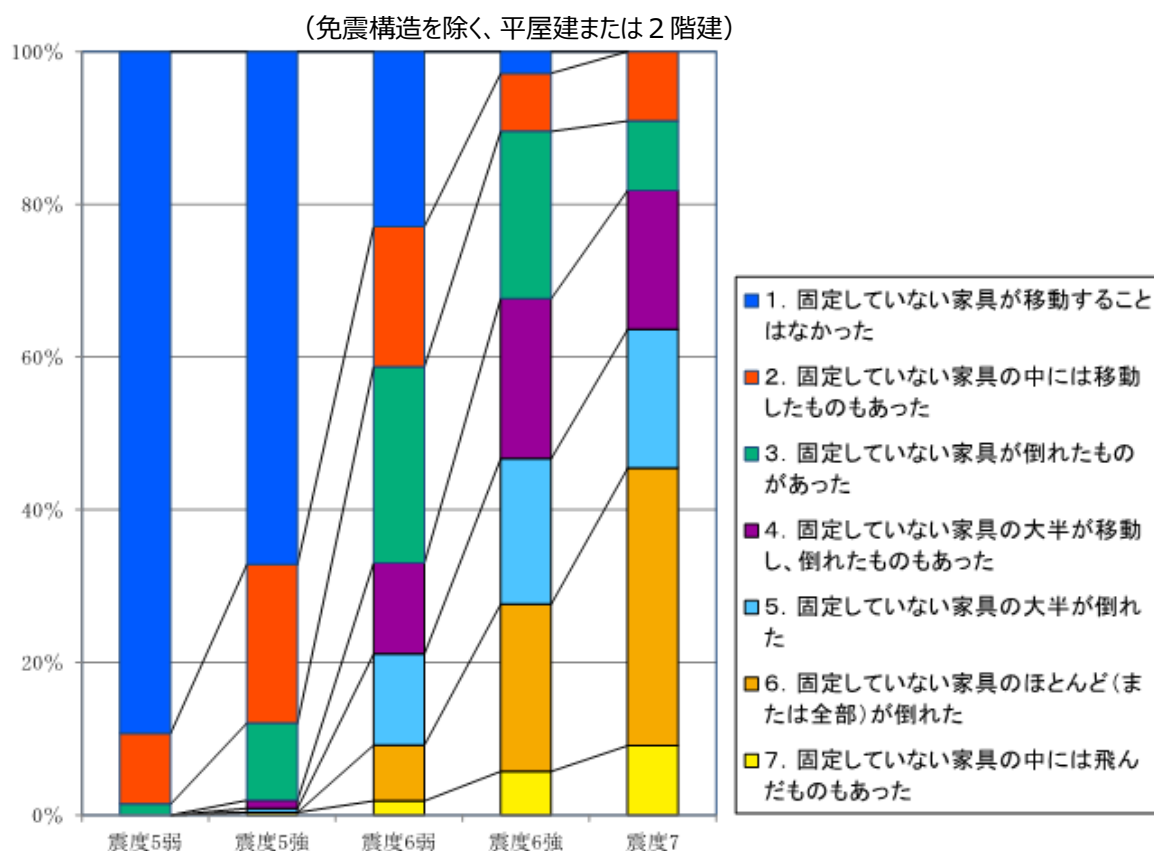
地震火山部 地震津波監視課 地震津波防災推進室 青柳、雛川

電話 03-6758-3900（内線 5152、5157）

揺れに関するアンケート調査

○固定していない家具の状況 （別添 1 の p. 17 に掲載）

固定していない家具について、その形状や置き場所によっては震度階級関連解説表の表現と一致しない場合もあるものの、震度が大きくなるにつれて、移動したものや倒れたもの、飛んだものが増えているという傾向が見られています。



(参考) 解説表での表現抜粋とアンケートでの該当選択肢

震度階級	屋内の状況	該当選択肢
震度 5 弱	固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	2・3
震度 5 強	固定していない家具が倒れることがある。	3
震度 6 弱	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	4
震度 6 強	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	4・5
震度 7	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	6・7

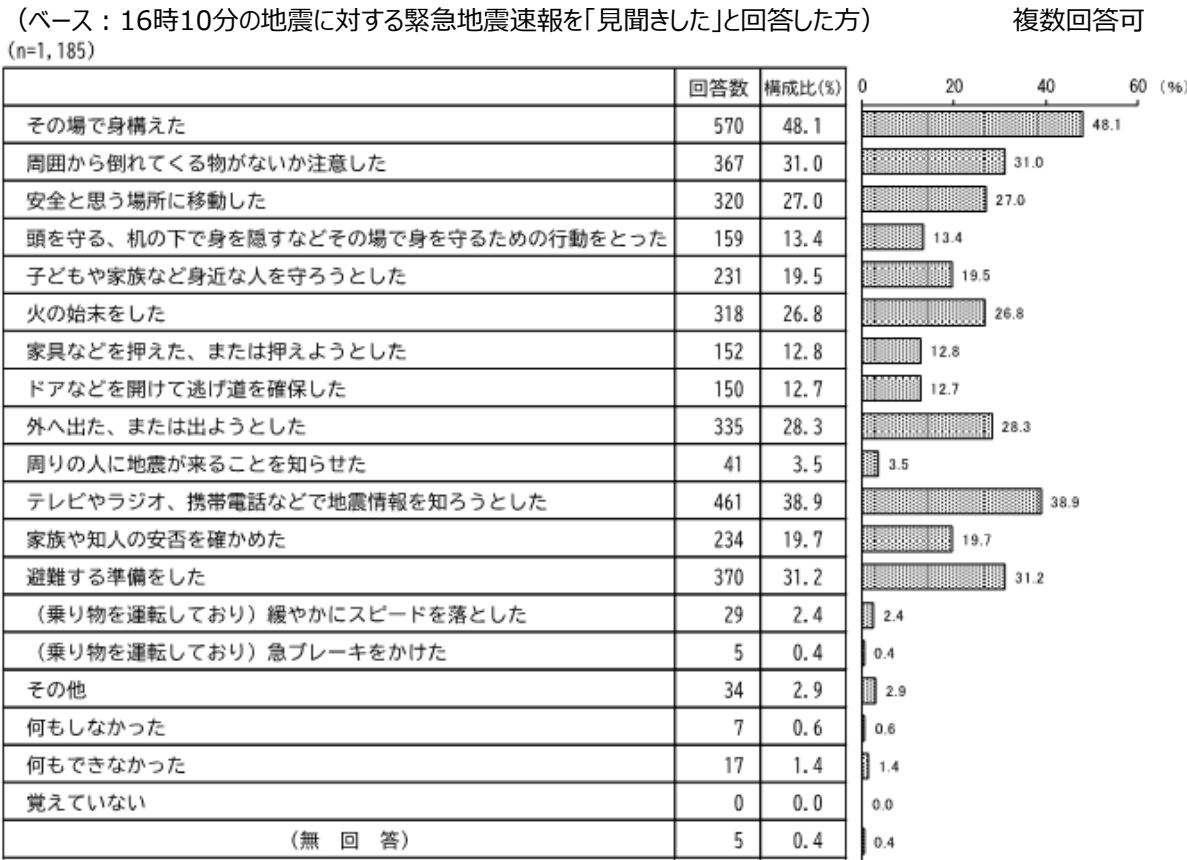
※この表は、震度階級関連解説表に記載している「固定していない家具」の表現を、対応する震度階級、該当するアンケート調査票の選択肢とともに示しています。
 ※「～が（も）ある」とは、当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用されます。したがって、その震度階級では、対象となる状況が生じないことも多くあります。

緊急地震速報及び津波警報等のアンケート調査

○16時10分の地震に対する緊急地震速報を見聞きした時の行動

(別添2のp. 22に掲載)

緊急地震速報を見聞きすることにより、「その場で身構えた」、「周囲から倒れてくる物がないか注意した」、「避難する準備をした」、「テレビ、ラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした」など、多くの方が地震の揺れから身を守る行動を取ったり、地震に関するより詳しい情報を入手しようとされていました。



○津波からの避難の意識 (別添2のp. 31に掲載)

津波警報を見聞きして「避難しなければ危ないと思った」「念のため避難した方がよいと思った」と回答した方は合わせて約8割で、多くの方が津波警報の発表により、津波からの避難を意識されていました。

